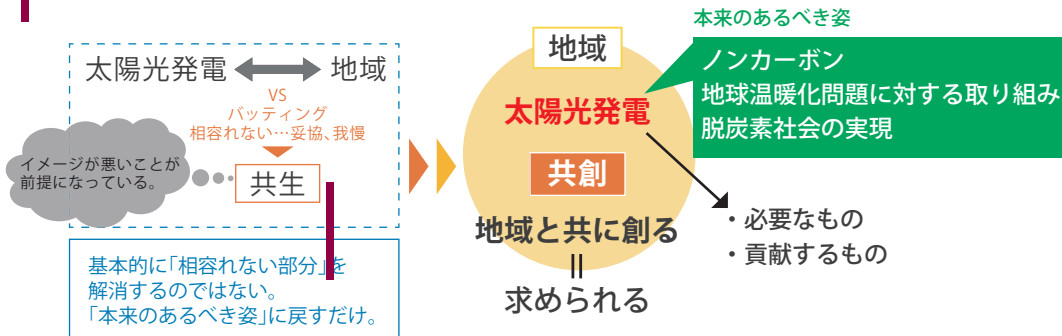


JPEA「地域共創エネルギー推進委員会」

エクソルは、業界団体である一般社団法人太陽光発電協会（JPEA）理事会社として地域の声を大切にし、太陽光発電の主力電源化に向けた課題解決、実効性確保に真剣に取り組んでいる会社です。

地域に寄り添い、地域と共に創り出す 「草の根型共創エネルギー」としてのあり方・政策等の提言・確立

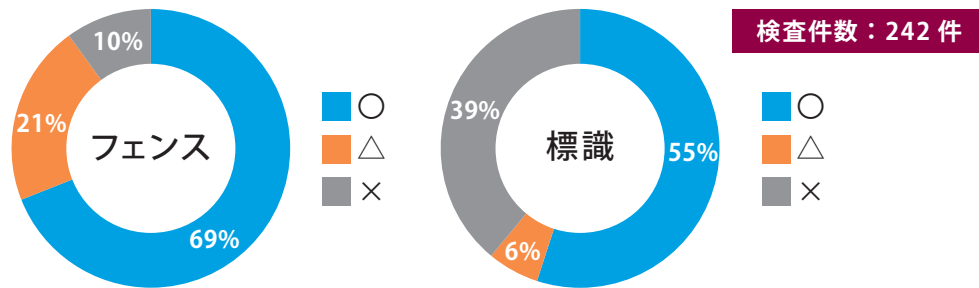


1. 太陽光発電所の安全性とそれに伴う「地域に暮らす人々の安心」の確立
2. 地域において必要不可欠なエネルギー（電源）として、その貢献性の確立

日本全国 16 市町村の太陽光発電設備調査結果

地域共創エネルギー推進委員会では既設の太陽光発電所を調査し、安全・安心の観点からフェーズⅠ～Ⅳの4段階に分類する提案を行っています。
フェーズ分類は、フェンス・標識の設置などの「法令項目」、土木・架台強度などを中心とした「より安全の観点から判断する法令外項目」等があります。

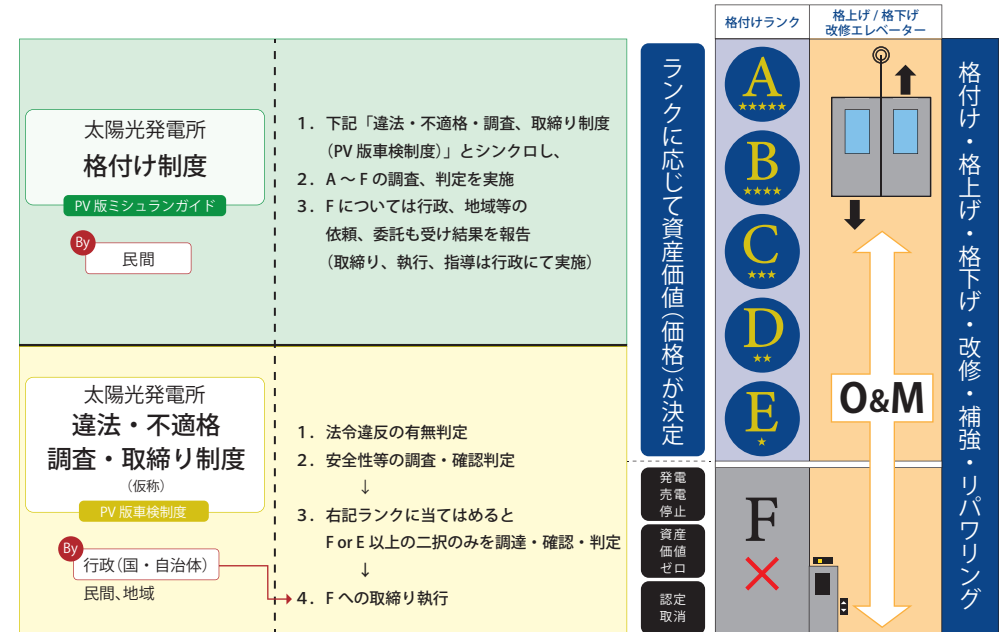
【「法令項目」フェンス・架台の設置状況についての調査結果】



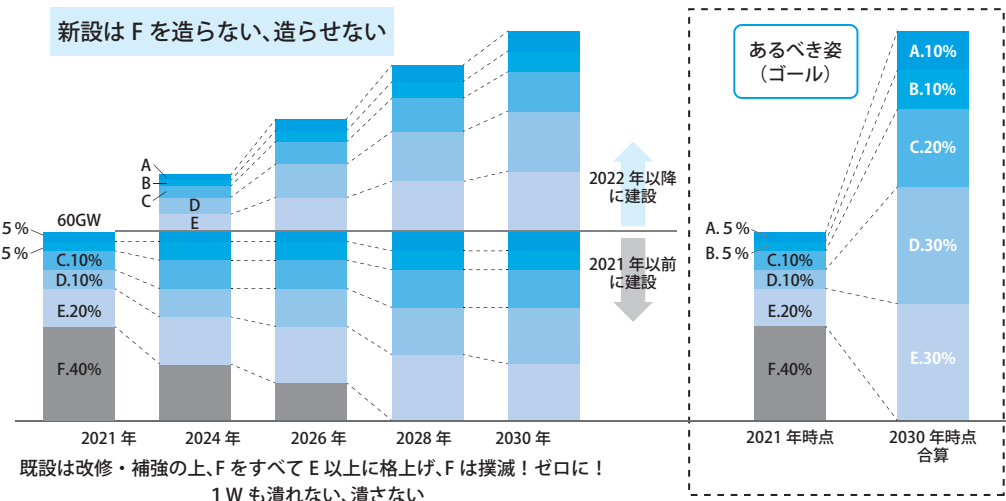
フェンスの△判定：不完全で第三者が容易に発電所に侵入できたり、外から設備に簡単に触れられる場合等
標識の△判定：記載事項の不備や一部の文字が見えなくなっている場合等

フェーズⅠの件数 **141 / 242** 比率 **58.3%**

長期安定稼働 / 安全・健全な太陽光発電 / 地域共創のための2階建てシステム



「格付け制度」、「違法、不適格調査・取締り制度」がもたらす成果イメージ



既設は改修・補強の上、FをすべてE以上に格上げ、Fは撲滅！ゼロに！
1Wも潰れない、潰さない

今後の導入拡大において「2階建てシステム」は必要不可欠！